

海の向こうから

みなさんこんにちは。いかがお過ごしですか？2017年も終盤を迎え、今年度もたくさんの隊員が広島県から世界各国へ出発しました。海の向こうの現地隊員の方からもお便りが届いています。今号は国内の活動報告の記事が満載です。まずは現地隊員の活動レポートです！

01

スリランカ発！現地活動レポート



「優しく強く」生きる。

インド洋に浮かぶ島国、スリランカは多民族国家です。4つの宗教、さまざまな人種が共存しながら生活し、同じ国の中でも2つの言語（シンハラ語、タミル語）が話されています。したがって、地域によって異なる文化を体験することができます。私の任地、キリノッチは8年前まで民族紛争の激戦地でした。現在は各国のNGOやさまざまな団体、国の支援を受けて、建物や交通機関、電力等ハード面はかなり復興しています。しかし、人々と触れ合う中で、彼らの心の中にある、苦しみ、悲しみを感じることもよくあります。それでも明るく笑顔で接して下さる任地の方々から、「優しく強く」生きる姿勢を学ばせてもらいました。

任地で6ヶ月生活して。

約2カ月の首都でのタミル語訓練を終え、任地で活動して6カ月が経過しました。任地には全部で94校小学校があり、現在計5校の小学校を日替わりで巡回しています。学校での活動内容は、英語の授業支援、読書活動の推進、教室環境改善を主に行っています。英語の授業支援では主に、英語の歌やゲームなどのアクティビティの紹介を行っています。任地では、先生が黒板に書いたことを子どもは書き写すだけといった一方的な授業が多く行われています。その中で子ども達が自分で考え、少しでも楽しみながら学習して欲しいという願いを持って活動しています。「次はいつ来るの？」「明日も来て！」といった、子ども達や先生方の優しい言葉やはじける笑顔が毎日の原動力です。残りの任期で頂いた優しさをしっかり返していけるように、自分にできることを精一杯、優しく強く頑張ります。

(28年度3次隊 スリランカ 小学校教育 吉村 歩野花)



写真左：主食はカレー！もちろん手で食べます。



写真右上：紛争で倒れた給水塔。/写真右下：学校の様子。



H26 年度隊が H28 年度に帰ってきました！

6月11日に八丁堀 LE REVE にて帰国報告会を兼ねた親睦会を開催しました。今年は10名の帰国者とOVと一般参加者を合わせた合計28名が集まりました。プログラムの中では、3名の帰国者が任国での生活や体験談を語ってくれました。それぞれの国のイメージはありましたが、2年間いた隊員視線からの国の暮らしぶりや活動が聞けて驚いたり、笑ったり、自分自身を振り返ったりする時間でした。

今年の発表者はこちらの3名！



FROM MALDIVES

小学校教育・梅木さんの体験談。モルディブの生活拠点や風習の話など。活動では現地の環境に合わせた体育教育を取り入れた。



FROM PAPUA NEW GUINEA

コミュニティ開発・三田さんの体験談。パプアニューギニアと日本との歴史の話や、活動ではサメを活用し、会場を驚かせた。



FROM BHUTAN

衛生工学・亀井さんの体験談。ブータンの台所の煙による健康被害をデータ化し、ゴミ処理施設的设计などを行った。

一緒に作った任国料理のふるまいも。



モンゴルの蒸し焼きうどん。麺は粉から手作り！とっても食べやすくおかわり続出！！



ブータンのじゃがいも、ししとう、舞茸のチーズ煮込み。想像の通り辛かったです、ご飯にピッタリ！



ポリビアのデザート。①牛乳と合わせたもの ②りんごと合わせたもの2種。栄養満点、美容にも良い♪

■ 次回は平成27年度隊が平成29年度に帰ってきます！どんなお話が聞けるのか楽しみです。

（活動レポート：平成24年度1次隊 モロッコ 助産師 西村 光 マリア）



うまく体験談を話したい。

協力隊から帰ってきた後、出前講座（学校などからの依頼で体験談を発表する機会）に呼ばれ、人前で話すことがあります。協力隊の経験を社会に還元する、多くの人に開発途上国を知ってもらいたいという想いから、引き受けたものの、どういう風に表現したら良いのだろうか。と悩んだ経験はありませんか。もしくは対象者が本当に興味を持って聞いてもらっているのだろうか、つまらなかったのではないだろうか、と内心不安に思うことも多々あるかと思えます。今回のセミナーでは、公益社団法人 青年海外協力協会（JOCA）から講師を招き、JICA 中国との共催で、より良いプレゼンテーションのためのセミナーを行いました。

聞き手のニーズとは？

出前講座では、小・中・高校、大学に行く機会が多くなります。もしくは先生に対して行う機会もあります。対象によってニーズが違うため、まずはニーズの認識の違いについて整理しました。

子どもが求めていること	教師が求めていること
① 楽しく学びたい	① 参加型学習で学ばせたい
② 具体的事例で考えたい	② 説得力のある「生の声」を聞かせたい
③ 海外ボランティアの経験者に会いたい =非日常に出会いたい	③ 日本の生活・生き方を見直す機会にするための 子どもへのメッセージが欲しい

このようなニーズがあり、総括して帰国ボランティアの体験談に求められている事は、「1つ1つの事例に、直接接する機会を提供し、そのことについて考えるきっかけをつくること。」との事で、各人が自身の活動をふりかえり、体験の分類（驚いたこと・嬉しかった、楽しかったこと・哀しかった、つらかった、腹が立ったこと・考えたこと）を書き出したり、エピソードの整理（派遣国で体験したこと・考えたこと、感じたこと・伝えたいこと）を行い各自の協力隊体験の掘り起しを行いました。また、「協力隊体験を語る」のではなく、「協力隊体験から語る」ということが重要とのことでした。

持続可能な10分体験談を作る

書き出したエピソードから、テーマを明確にして展開を考えた10分体験談を作り、2人1組でデモ講座を発表しました。「協力隊の体験談は良い体験談を作れば、何年経っても使える」という事で、参加者のみなさんは真剣にそして楽しく取り組んでいました。（活動レポート：平成20年度4次隊 ウガンダ 土木 竹内 英祐）





■ イベント発案は突然。

9月30日（土）、世羅幸水農園にて果物（梨）狩り、世羅ワイナリーにてバーベキュー&シニアパネルトークを開催しました。今回のイベントはOBシニア層及びご家族連れ大歓迎として企画しました。事の発端は、あるシニア層OBの方から「古い隊次の方は参加しにくいですね」と言われたことでした。それを隊員総会の時にうっかり（？）話したら、シニア層向けのイベントをやろう！という話になって、井上和恵さん、竹内会長、私3名での強力チームのもと、イベントを開催することができました。

■ 梨狩りの後、ワイナリーで食事をしつつシニアパネルトーク！

当日はOBシニア（40歳以上）が14名、OB若手が11名、ご家族が12名、外国人が3名で計39名という予想以上の多くの方に参加頂きました。梨狩りでは豊水をほおぼりながら自己紹介をし、あるOBからは「いつもが一番古い隊次くらいだけど、今日は大先輩が多くいらして心強い！」というコメントもありました。お子さん同伴の方は、楽しい時間をご家族で過ごされていました。

その後、世羅ワイナリーに移動し、牛肉と羊肉のバーベキューを食べながらシニアパネルトークを行いました。テーマは協力隊の活動とその後の人生で、日高猛治さん（H3-3）、岩下康子さん（H9-1）、吉池俊二さん（S61-2）、田頭康男さん（S59-2）4名のパネラーに話してもらいました。古い隊次の方々はその後の人生の話も含めて興味深く、できればもっとじっくりお話を伺いたいなと思いました。

最後に、事前打合せなく第二代広島県OB会会長の天野重実さん（S44-3）を指名させて頂き、お話を伺うことができました。また、サプライズで誕生日祝いとJICAを退職される成田望美さんの送別があり、和やかなムードでイベントを終えることができました。

■ 終わりに…

今回は、ご家族も含めた多世代の方が参加するイベントになり、多様性を許容するOB会の理念に合ったイベントになったと思います。ご参加頂いた方は誠に有難うございました！イベントを終えた感想ですが、シニア層の方と接して改めて豊富な経験を持たれていると感じました。シニアの豊富な経験や人脈がOB会の若いメンバーに還元されれば若い世代にとって大きなメリットになるし、逆に若い世代がシニア世代に活躍の場を提供できる可能性もあります。そういう相互交流はシナジーを生むし、OB会がイベントに限らずそういう場として機能されれば、より良いなと感じました。今後もシニアの方、ご家族の方も楽しい場を一緒に作っていきましょう！

（活動レポート：平成17年度2次隊 モンゴル プログラムオフィサー 寺川 純）



11月19日（日）、国際交流・協力活動が続けている市民団体・企業などが参加する「国際フェスタ2017（旧国際交流・協力の日）」に、今年もOB会として参加しました。またそれに先立って8月27日（日）に屋台メニューの「調理・試食会」、合わせて第3回スキルアップセミナーとして、協力隊OVの帰国後の生き方「ざっくばらんにキャリアセミナー」を広島市中央公民館にて開催したので報告します。

■ 第3回スキルアップセミナー「ざっくばらんにキャリアセミナー、試食会」

「試食会」では国際フェスタ2017の屋台で販売予定の「チリコンカルネ」と「キヌアコンレチェ」を調理して食べました。「チリコンカルネ」は豆とひき肉をトマト味でチリパウダーをきかせて煮込むメキシコ料理、「キヌアコンレチェ」は栄養価の高いキヌアをミルクと砂糖を入れて煮込み、シナモンと共に食べるボリビア料理です。屋台での調理方法や提供の仕方などを確認しながら行い、本番前に良い練習になりました。また合わせて行われた「ざっくばらんにキャリアセミナー」は進路相談カウンセラーの森木由加里OV（18-2・フィリピン・陶磁器）の司会・進行の元、服部美樹子さん（22-2・フィリピン・村落開発普及員）、田中涼子さん（24-1・カンボジア・小学校教諭）、三田嵩さん（26-3・バブアニューギニア・コミュニティ開発）の3名の方に登壇していただき、帰国後のキャリアについてパネル形式で話してもらいました。地域おこし協力隊で地域貢献している話、現職参加で大学院にも進学した話、悩みに悩んだ結果地元企業への就職をした話など、帰国から就職までの興味深い話を聞くことができました。またそれぞれが希望する道へ進みながらも悩んでいる姿は他のOVからも共感を呼び、フリートークも盛り上がりました。

■ 国際フェスタ2017

OB会として、屋台、地球ひろばコーナー、そして協力隊体験談に参加しました。屋台のコーナーでは、試食会で作った中南米料理「チリコンカルネ」と「キヌアコンレチェ」の販売を行いました。「チリコンカルネ」は昨年に引き続きの販売となりましたが、「今年も楽しみにしていた」などと好評にて、完売することができました。「キヌアコンレチェ」は、初めて食べる人も多かったのですが「おいしい」、「オートミールやミルク粥みたい」という声が聞かれました。地球ひろばではJICA中国主催の「途上国のあそび」「民族衣装の試着」「カンガでしおり作り」などのコーナーのお手伝いをしました。会場は民族衣装を試着した子供たちがポーズを決めながら写真を撮っていたり、大人もゲームに夢中になっていたりするなど、幅広い年代で賑わっていました。また、体験談「ホントはね、井戸掘りだけじゃないのよ、青年海外協力隊」では濱長真紀OV（19-3・ベリーズ・体育）の司会・進行にて、新卒参加代表、20代参加代表、30代参加代表として亀本真衣さん（27-1・モルディブ・小学校教諭）、山本主税さん（24-3・カメルーン・村落開発普及員）、光高理恵さん（26-4・フィリピン・看護師）の3名のOVが登壇しました。「もう一度任地に行きたいか？」などの質問に答えるYes/Noトークや、現地での病気、トイレ事情、食事の話など、協力隊ならではの生活についての話に会場も盛り上がり、その衝撃に静まり返ったり…、またそれぞれの年代で参加を決めたその決断話など、OVとしても新鮮な話を聞くことができました。この日はとても冷え込みも厳しかったのですが、今年も30人以上のOVが参加しました。国際協力に関わるととても大きなイベントで他団体との交流の場にもなり、今後もOB会として参加していけたら良いと思います。（活動レポート：平成24年度1次隊 エクアドル 理学療法士 花岡 匡子）

訓練所～任国派遣前の想いを形にするためにアンケートを取りました。隊員のみなさん！任国の生活や活動で慣れた頃に、たまに見返すと初心を思い出せますよ。

アンケートの内容

- ①名前 ②隊次/派遣国 ③職種 ④応募したきっかけ ⑤訓練所での辛かった思い出
⑥訓練所での楽しかった思い出 ⑦活動中に挑戦したいこと ⑧出国前の心境 ⑨意気込みを一言！



①多田 まるこ ②28-3/ モンゴル ③幼児教育 ④電車で JICA のポスターを見て、説明会で話を聞いたこと。 ⑤語学。新しい語学を取得するのは、難しいことだと知りました(モンゴル語)。時間配分をしないと、語学やレポートに追われます。時間配分を上手にしてリフレッシュしてください。 ⑥新しい仲間と、スポーツをしたり、ご飯を食べたり、色んな話をしたりと仲間との関わりが楽しかったです。 ⑦オールモンゴル語で話せるようになりたい!!そして運動会を開催したい!! ⑧寒いけど大丈夫かな!?寒さに負けないぞ! ⑨オールモンゴル語



①榎田 享樹 ②28-3/ ドミニカ共和国 ③木工 ④協力隊に参加するのが夢でした。 ⑤やっぱり、語学です。 ⑥2 か月間仲間とすごした時間すべてが楽しかったです。 ⑦小さなことでも良いので、少しでも任国の現状が良くなればと思います。 ⑧ワクワク・ドキドキです。 ⑨広島県民として、世界平和への意識と自身を含め、任国の方と一緒に高め合っていくことも頑張っていきたい。



①西本 純一郎 ②28-3/ ヨルダン ③日本語教師 ④アラビア語で長期活動してみたかった為。 ⑤睡眠時間不足(1日6時間) ⑥多くの隊員とコミュニケーションが取れたこと。アイドルダンスをしたこと。 ⑦YouTube にヨルダン日本語チャンネルを作ること。 ⑧意外と落ち着いています。出国までにアラビア語方言を一通り押さえておきたいのですが、まだまだ学ぶことが多く、こちらは焦り気味です。 ⑨ヨルダンと日本の双方を近付けられるよう、活動に取り組みみたいと思います。



①吉村 歩野花 ②28-3/ スリランカ ③小学校教諭 ④高校生の時に青年海外協力隊 OB の方の講演を聞いたことがきっかけ。 ⑤訓練所で出会ったみんなと別れること。 ⑥毎週末あった飲み会。 ⑦広島・原爆について何らかの形で伝えたい。地元と任国と交流を持ちたい。 ⑧早くスリランカの人々に会いたいです!楽しみ! ⑨みんなに笑顔届けたいです!繋がりを大切に。



①中込 愛香 ②28-3/ ジャマイカ ③野菜栽培 ④国際ボランティアに興味があったのですが、自分で参加出来る分野が分かりませんでした。しかし、説明会に行き OB の方のお話や要請内容を詳しく知ることによって応募してみようという行動に移せました。 ⑤朝の集いで、マイナス気温でも外で行われる日があった事です。 ⑥多くの志が同じ仲間と出会えて、年齢・出身地・経歴が違えど仲良くできたことです。(訓練が終わってしまう事が辛いくらいでした) ⑦日本の事、広島的事も知っていただけるようアピールしたいです。 ⑧実感がわからず、駒ヶ根が恋しいです。現地での活動を考えなければ・・・と思っています。 ⑨「もっと〇〇すれば良かった。」等の後悔をしないよう、時間は限られていると思い頑張ります。ジャマイカに貢献してきます!



①岡本 洋子 ②28-3/ ウルグアイ ③保健師 ④前回ボリビア日系社会に派遣された経験を生かし再度活動したいと思った。今度こそは、スペイン語も習得したい。 ⑤語学。覚えることが多く、頭の容量を超えました。 ⑥若い人と仲間が増えた。 ⑦世界の裏側で健康づくりを広めたい。仲間づくりスペイン語の習得。 ⑧ワクワクと不安がハーフハーフ。 ⑨2年後の理想のイメージを思い浮かべながら活動にとり組む。



①井原 大地 ②28-4/ ガーナ ③自動車整備 ④海外で働いてみたかったから。 ⑤人間関係 ⑥人間関係 ⑦ガーナの自動車整備技術の向上 ⑧ドキドキしています。 ⑨全力を尽くします。



①花岡 早織 ②29-1/ ラオス ③PC インストラクター ④もともと協力隊に憧れがあり30歳を目前にしてやり残したことはないか考えたとき、真っ先に浮かんだため。 ⑤クラスの中で一番の成績だったのにアルバム作成や自主講座を頑張り過ぎて中間以降の小テストで最下位になってしまったこと。 ⑥談話室で班のみんなとしようもないジェスチャーゲームをして遊んだこと。 ⑦原爆展を開きたい!滝で修行。 ⑧心が追い付きません(笑)。 ⑨Think Globally, Act Locally を心に刻んで活動します。ぱにゃにかんだー!(ラオス語で、がんばるぞー!)



①平田 萌 ②29-1/ カメルーン ③環境教育
④現場で国際協力に携わりたと思ったから。
⑤単調な生活・早起き ⑥色々な人と出会い、たくさん
笑い合い刺激を受けられたこと。 ⑦できるだけ多くの
部族に会う。目指せ 250 部族制覇！ ⑧いよいよ始まる
などわくわくしてます。 ⑨心の赴くまま、素直に全力
で活動してきます！



①小谷 鮎 ②29-1/ ザンビア ③医療機器
④中学校時代協力隊 OB の方が数名学校で話を
して頂きました際にあこがれ応募しようと決意しました。
⑤テクニカル語学訓練でワークショップやテストを行っ
たこと。 ⑥生活班・語学グループにめぐまれたため、
生活は楽しかったです。 ⑦ザンビア国内および国内外
旅行にて、様々な場所に行くこと。⑧とても楽しみです。
⑨2年間無事に任期を全うして帰国します。



①面迫 一途美 ②29-2/ エクアドル ③高齢
者介護 ④元々就職時より 3年以上働いたら
もっと視野を広げるために協力隊へ行ってみたくと思っ
ていた。 ⑤クラスリーダー(語学)として交流会の準
備が不十分でギリギリで追われてしまったこと。 ⑥生
活班の女子で夜の点呼のときに色々な話をしたこと。
⑦1人でも多くの高齢者に笑ってもらうこと。 ⑧訓練
が終わってほっと一息しているところ。 ⑨後悔のない
2年間したいです。



①河原 美代 ②29-2/ ガーナ ③助産師
④OV の方々とお話しをして自分もこの人達の
仲間に入りたい！ 自分の経験を語りたい！と思っ
たから。 ⑤課題が終わらず5～6時間、少ない時には、
3～4時間しか眠れなかったこと。 ⑥全て。特に班員
と過ごす何気ない時間が私の活力になっていました。
⑦見た目から現地に入っていく！伝統的な布を使用した
服やエクステを使用した髪形など現地の人に近付けるこ
とをいろいろ挑戦してみたいです。 ⑧不安もあります
が、全てを楽しみに、自分の刺激へと変えられる気がし
ます。 ⑨現地の方と心を通じ会えたと思える2年間を
過ごせるよう頑張ります！



①今田 絵美 ②29-1/ エジプト ③小学校教
諭 ④TV「世界ウルルン滞在記」をみて中学
生の頃になりたいと思っただけがきっかけ。応募前に友
達から協力隊 OB の方を紹介していただいて、あの頃の
熱意を思い出し応募に至る。 ⑤時間におわれたこと。
(あっもう消灯?! ごはん行かなきゃ!) ⑥自主講座で、
平和教育について実施し参加者の皆さんと共に平和につ
いて考えることができたことが楽しかった。 ⑦エジプ
トの生活や活動をブログやレポートで発信していくこと。
平和教育プログラムづくり(エジプト(イスラム教圏)
でできること)で原爆展の実施 ⑧楽しみ!! あ…でも
準備が大変だなー(現実的)と思ってます。色々な体験
出合いを楽しみにしています! ⑨広島代表として、日
本の代表として、エジプトに笑顔をふやしていきます。



①藤井 沙紀 ②29-1/ ヨルダン ③環境教育
④中東へ興味があったから。 ⑤睡眠時間が短
かったこと。 ⑥新しい言葉を学べたこと。 ⑦様々な
人をつなげて1つのことを成功させたい。 ⑧早く任国
先の文化へ溶け込みたい。 ⑨とにかく楽しく過ごせる
ように頑張ります!



①福島 未希 ②29-2/ モンゴル ③理科教育
④中学校からの夢であきらめかけていたのです
が、生徒ががんばる姿をみて再挑戦しようと思いました。
⑤朝のランニングです。でも、1ヶ月ほど経つと楽しく
なってきたため嬉しかったです。 ⑥生活班や言語、そ
れ以外の友達と様々なことを一生懸命がんばったこと。
⑦馬に乗る、ホーミーを覚える、などモンゴルの文化を
1つでも身につけたいです。また、できたらモンゴルの
生徒と学校の生徒で異文化交流を行いたいです。 ⑧行
くことが、すごく楽しみです!! でも、言語が、きちんと
できるのか不安もあります。 ⑨世界をみてできるこ
とからやっていく!! 生徒に還元できるように精一杯努力す
ること!!



①山縣 修 ②29-2/ ケニア ③下水道 ④若
い頃から興味があった。20年前 JICA 専門家
研修を受けたこともある。 ⑤時間に追われること。語
学の宿題をしていて、食事時間に間に合わなく食事がで
きなかつた。 ⑥若い人達(私はシニアで67才)といっ
しょに訓練できたこと。 ⑦今までの私の経験が生かせ
たらと思う。 ⑧不安と期待でいっぱい。 ⑨出来るこ
とをやる。出来ない事は、勉強する。

協力隊 5つの「あ」

あせらず あきらめず あてにせず
あわてず あなどらず



平成 28 年度 3 次隊 知事表敬・壮行会

5 名の隊員を合わせ合計 18 名の方に参加いただきました。
新隊員のみなさんのアンケートは 6 ページをご覧ください。



まつながカープチェー

約 15 名が福山市に集まりました。タイ・ラオス
カレーの販売と、JICA パネルの展示を行いました。



家族連絡会・総会

協力隊留守家族の方を招き、ボランティア事業や支援体制について説明を行いました。4 名の OB パネルトークや意見交換も。



ざっくばらん会「お花見バーベキュー」

広島市中央公園横の河川敷でバーベキューを行いました。
約 30 名が参加し、お花見をしながら BBQ を楽しみました。



平成 26 年度隊お帰りなさい会・協力隊ナビ

3 名の帰国隊員が活動報告を行いました。
様々な国の料理を食べながら隊員同士の交流も行いました。



平成 29 年度 1 次隊 県庁表敬・壮行会

5 名の隊員を合わせ合計 19 名の方に参加いただきました。
新隊員のみなさんのアンケートは 7 ページをご覧ください。



中国ブロック交流会（島根）

今年は島根県に中国 5 県の OB が 60 名以上が集合。
ボルダリング体験や温泉巡り、活動報告を行いました。



第3回スキルアップセミナー・協力隊ナビ

パネルトークやフリートークを通して、帰国後のキャリアについて情報共有を行いました。国際フェスタの試食会も。



第2回スキルアップセミナー

出前講座プレゼン技術向上のためのセミナー。講義を通じて各人の10分間体験談を作成し、デモ講座を行いました。



カープイベント・協力隊ナビ

今年もマツダスタジアムにて、協力隊の広報やパネル展、CC ダンスを民族衣装を着て踊りました。



平成29年度2次隊 県庁表敬・壮行会

4名の隊員を合わせ合計19名の方に参加いただきました。新隊員のみなさんのアンケートは7ページをご覧ください。



世羅梨狩り・シニアパネルトーク

昼食を取りながら、4名のシニア層OVによるパネルトークを行いました。テーマは「協力隊の活動及び協力隊後の人生」。



国際協力の日・協力隊ナビ

新卒、20代、30代で協力隊に参加した3名のパネリストのぶっちゃけトーク。およそ50名以上に会場頂きました。

今後の予定

2017年 12月19日：平成29年度3次隊
知事表敬・壮行会

2018年 2月4日：まつながカープチェー

2月18日：家族連絡会・総会

3月中旬：平成29年度4次隊
知事表敬・壮行会

今年、初めて会報誌を担当させていただきました、61年度2次隊吉池俊二です。今年の会報は、会長の竹内さん山本さんに、新隊員アンケート・隊員からのレポート・各行事の報告等、隊員の皆様に助けられ何とか出来ました。若いOB・OGの中で高年齢の私に参加させていただきありがとうございました。OB会皆さんのご協力ありがとうございました。現在参加されない皆さんも協力隊OB活動に参加してみませんか、昭和の隊員参加は、大変少ないです。皆さんの参加をお待ちしております。私は、この1年楽しく参加させていただきました。今後もよろしくお願いいたします。

ホームページリニューアルのお知らせ



青年海外協力隊広島県OB会のHPがリニューアル・オープンしました。過去の会報がオンライン上で見られるほか、OB会の活動紹介が少しずつ掲載されております。お手すきの際にでもどうぞご覧くださいませ。

URL : <http://www.jocv-hiroshima.sakura.ne.jp/>

広島県 青年海外協力隊

検索

家族連絡会・総会開催のお知らせ

2018年2月18日(日)に家族連絡会・総会を開催します。お久しぶりの方も、初めての方もどうぞお気軽にご参加ください。場所は、広島市留学生会館2階ホールになります。家族連絡会のプログラムは12時集合～15時閉会、総会は15時過ぎ～家族連絡会が終わり次第開始となります。

総会の議決権について、昨年度の総会にて、会費(2,000円/年)を払った人のみ議決権を持つという事が全会一致で議決されました。OB会のお金が残る30万程度で収入の確保が必要なことや、広島県OB会の会員総数は名簿上、300名程度いるにも関わらず、実際に年1回以上参加しているOBは40名程度で、総会も30名程度しか集まっておりません。そのため、参加者+委任状で、会員総数の1/3が集まらないという現状があり、OB会規約を1/5で成立としていたり、連絡の取れないOBを会員名簿から削除して対応していました。それを打開すべく、年会費2,000円を払った人のみ「議決権」というOB会規約の変更を行いました。この会報が郵送で届いている広島県のOBの皆さまは、間違いなく名簿に載っている300名の中に入っていますので、総会やイベントに参加していただけたら幸いです。会費を払ってなくても総会・イベントには出来ますが、是非会費を払って参加して頂ければと思います。

広島 JICA デスクからのご案内

国際協力に関心を持つ皆様、あるいは、誰かのために何かしたいと考える皆様が、それぞれの立場でそれぞれの関わり方が出来るよう、情報を発信し、一緒に考えていきたいと思っています。最新情報は右のQRコードから(JICA広島デスクFACEBOOKページ)。

広島市 JICA デスク 推進員 橋本 082-242-8879



青年海外協力隊 広島県OB会 連絡先

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 会長 竹内 英祐 (20-4 ウガンダ 土木) | <input type="checkbox"/> 広島県出身者の任国滞在中の
隊員数：55名 (40カ国) |
| <input type="checkbox"/> 事務局長 上野 寛治 (21-2 ドミニカ 音楽) | <input type="checkbox"/> 帰国した隊員数：1,051名 (85カ国) |
| <input type="checkbox"/> 会報誌担当 吉池 俊二 (61-2 リベリア 自動車整備) | <input type="checkbox"/> 累計：1,106名 (86カ国) |
| <input type="checkbox"/> メールアドレス：info@jocv-hiroshima.sakura.ne.jp
(イベントお問い合わせや住所変更などはこちらにご連絡ください) | |